

慶蔵院寺報

# 公孫樹

2021年11月発行  
第118号  
浄土宗慶蔵院  
伊勢市小俣町元町1211  
TEL0596(22)3726



神谷先生の講演会、会場の参加者 西里定一 画

## 「欣浄寺復興」浄財支援、ご協力に感謝いたし

ありがとうございます。

浄土宗二五霊場の一つ、伊勢の日の丸「欣浄寺」再建支援のお願いをさせていただいたところ、檀家さん、信徒さん、ご縁をいただいている皆さん、二二一名の方から、二九万三〇〇〇円のご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

二十五日、興隆寺様での宮川組内寺院が参集する月例会「明照会」にて、取り組みの経過を報告をさせていただきました。浄財総額は伊勢教区教務所に届けさせてもらいます。また西林寺上人より左記のとおり報告をいただきました。

「欣浄寺焼け跡の整備が完了し、境内にテントを張り、山田組内全寺院の参集を得て、住職の本葬を済ませることができた。当面は西林寺住職との兼務をしながら、実務を蓮華寺さんをお願いして、彼岸の塔婆供養や年忌法要などに対応していく。二百をこえる檀家名簿の整理ができた。二人のご子息のいずれかが寺を継いでくれるまで兼務対応をさせていただきます。本堂と庫裡兼寺務所の建設を行う。規模は小さいものとし、予算的には五千万円程度を考えている。浄土宗霊場の一つとして、伊勢教務所より、請願を出してもらい、全国に再建支援の要請をお願いしていくための準備中である。この間、教務所にはかなりの教区内寺院より浄財をいただき、欣浄寺の方からも各寺院への礼状発送の準備に入っている。励ましをいただき感謝を申し上げます。」

欣浄寺様の焼失は大変な出来事でした。しかし関係する沢山の方々の再建に向けての努力・取り組みが始まり、日毎に大きく広がって、結集が強まってきているように感じます。

法然上人が晩年、伊勢行を願っていたことが単なる伝説上のお話ではなく、事実だったのではないか。欣浄寺再建は、浄土宗開宗八百五十年（二〇二四年）に向けて、お念仏の興隆が伊勢の地より広がっていくことの象徴のように感じてきます。

# 11月の行事予定



3日(水)	写経 映画会	午前10時～ 午後7時半～
10日(水)	念仏会	午後7時半～
17日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午後1時～ 健康教室・歩き方教室 参加費500円 午後7時半～
24日(水)	読経会	午後7時半～
25日(木)	戦没者慰霊	午前11時～
11日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時
12日・26日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 子ども 無料 大人 500円
予約があれば水曜日	キサンシングボウル ヒーリング	要望に応じて30分～60分

## 慶蔵院寺知識 (15)



幸せということについて考えてみました。人から受けたことへの感謝の気持ち。自分があたたかい心で人に接することができた時の気持ち。今日一日、与えられた仕事に励むことができた喜び…。

三十年も前の思い出があります。忙しい寺務の合間に、長男夫婦・孫二人と一緒に、五人家族で礼文島までの旅に出たときのことです。

千歳空港からレンタカーを借りて北上、稚内からフェリーで礼文島に渡りました。夕方までにはまだ時間がある。地蔵岩まで行って夕陽を見よう…と車を走らせました。地蔵菩薩が海に向って清らかに佇んでいるかのような岩。五十メートルの高さの岩柱。真っ赤な太陽が雲に海に光の帯を何重にも投げかけ、シルエットになる地蔵岩。光に包まれ、誰しもが口を閉ざし、瑠璃の原石が拾えると、砂に光る丸まったガラス瓶の欠けらを拾ったりして…。いつの間にかすっかりと日が落ちてしまいました。

宿に到着した時には七時を過ぎてしまっていたかもしれせん。事前に電話も入れず、チェックインもしていなかったのです。宿の主人は怒っていました。

「船に乗っていなかったのかと思っていました。夕食は宿泊客に、全部分けてしまいました。もう何もありません。どこかで食べてきてください…」と。

やっと見つけた居酒屋。そこで食べたホッケの干物の味は忘れられません。美味しかったというのではないのですが…。幸せでした。「有難いと思う心が、今日の幸せ」この言葉が本堂に掛かっています。

(栄子)

# 浄土宗新聞を無料でお渡しします！！

11月号読みどころ

P.2 お寺の農園で悩みを抱える若者を支援しています。静岡の法源寺。不定期に、月2回の活動。青少年就労支援ネットワークとの連携で…。さまざまな事情で 社会になじめず、生きづらさを抱える若者たちが外出するきっかけや交流の場となっているそうです。

P.5 「弥陀の心に染まる」では、横綱・照ノ富士の言葉「つらくとも続けていれば癖になる。癖になれば好きになる」を引用し、お念仏を称えようと勧めています。

P.8 夏目漱石「吾輩は猫である」の猫は成仏したのだろうか。漱石の家は代々浄土真宗、漱石も念仏に親しんでいたそうです。猫の墓標に「此下に稲妻起る宵あらん」と記しています。阿弥陀様が迎えに来てくれる光、漱石は光を信じていたのでしょうか。



号

山添真寛

ひとり人形芝

成道会予告！！

12月12日(日)1時〜



今号より、表紙絵を描いてもらっている西里定一さんの漫画を連載します。いつの頃からか西里さんは、戦争体験、仕事や生活体験、子供の頃の体験を漫画に書き溜めてこられました。英語で表現された漫画もあります。お楽しみにどうぞ。…。慶蔵院ホームページの「公孫樹」ではカラーで見ることが出来ます。

秋の月あなたを想い曼殊沙華

奥田 悦生

(「知恩」誌十一月号「柳壇」に掲載)



拍子木は  
打ち合わせなくしては  
音は出ぬ  
打ち合わせされて  
初めて大きな音がなる  
大勢の人と社会を構成  
し音を出して行く  
中野善英人

この寺報が手元に届くとき、総選挙結果はすでに明らかになっている。野党間での政策協定、選挙協力による候補者の一本化、勝てば政権交代のチャンス。六年間かかって、粘り強く共闘をつみあげてこられた市民連合、野党連合の努力に頭が下がる。

一票による審判が下り、野党連合政権ができれば、原発を止め、核兵器禁止条約を発行させ、疑惑を解明し、お金の使い道をはっきりさせ、消費税5%減税など、共通政策が実行できる。よりの多くの人たちが、自分たちの手で、政治を変えられるという実感を得れることになる。

横井久美子なら、歌っただろう。東京八区や十二区の激戦区の宣伝カーの上で、一人で立ち続けた国会の前で…。

『子どもたちに伝えよう 愛を生きる知恵を そしてあの日のヒロシマを ナガサキの出来事を

焼けただれた 顔たちが 叫び続けている 二度と地獄の苦しみを 許してはいけないと…

（「明日への伝言」 山川啓介 作詞 いずみたく作曲より）

これまでの日本政府は、唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に背を向け続けてきた。核兵器の存在が核戦争を防いでいるという核抑止論の立場に立っているからだ。相手国よりも強力な核兵器を持っていれば、攻めてくることはないという論法。結果、大国の核兵器はどんどん増えていくことになった。

この考えでは戦争を止めることはできない。抑止論は実際に核兵器を使うことが前提になっている。使用して初めて抑止になるというものだ。それは広島・長崎を繰り返すことになる。これを止めることができる道は、野党共通政策に明記されている。力を合わせて、歴史のページを開く「いい音」をたさねばならない。